

山岳遭難に注意しましょう

山形県山岳遭難対策協議会から山岳遭難の防止の呼びかけがありました。

山形県では、昨年59件の山岳遭難が発生し、うちキノコ採りでの遭難は7件7名(うち死者1名、負傷者1名)で、道迷いが主な原因だったとのこと。

これからの季節、道迷いや滑落、クマとの遭遇等による遭難の発生が懸念されます。山岳での遭難に注意しましょう。

山菜・キノコ採りでの 遭難防止

道迷いや滑落などに注意して、
遭難を防止しましょう!

ナメコ

フラビ・タラノメ

**遭難
しないための
心掛け**

- 慣れた山でも家族等に行き先を必ず告げて、複数名で入山しましょう。
- 携帯電話を持って行き、居場所が分かるようGPS機能を有効にしましょう。
- 携帯電話の電池切れに備えて、予備バッテリーも持って行きましょう。
- 道に迷ったら来た道を戻り、分からなければ見晴らしの良い場所で救助を要請しましょう。
- 急斜面は滑落しやすいので、ヘルメットや命綱を使用しましょう。
- 短時間の入山予定でも、食料や水のほか、天候の急変に備えて雨具や防寒具を準備しましょう。
- クマとの鉢合わせを防ぐため、クマ鈴、ホイッスル、ラジオ等を携行しましょう。

令和3年中、山形県内における
山菜・キノコ採りでの遭難
23件/24名
死者:3名 行方不明者:1名 負傷者:4名

山形県山岳遭難対策協議会
山形県警察本部